

|      |          |                     |       |        |        |             |
|------|----------|---------------------|-------|--------|--------|-------------|
| 事業番号 | 11 01 03 | 事業改善シート（令和8年度実施事業分） | □当初要求 | ■当初予算案 | □補正予算案 | □点検         |
| 事業名  | 建設業振興費   |                     | 部局    | 建設部    | 課・室    | 建設政策課・技術管理室 |

## 1 現状と課題

建設産業は、インフラの整備や維持管理はもとより、災害復旧や除雪など「地域の守り手」として極めて重要な役割を担っている。建設業就業者は60歳以上が3割を超える一方、29歳以下は1割程度であり、担い手確保や技術承継等が課題となっている。将来にわたって持続的に発展し、魅力ある産業となる取組が求められている。

## 2 事業目的

建設工事の請負契約の適正化等を図ることによって、建設工事の適正な施工を確保し、建設業の健全な発達を促進する。産学官が連携して建設産業の魅力発信や人材確保・育成に取り組み、持続可能な建設産業を創造する。建設工事の品質を確保するとともに、業務の生産性向上を図ることで受発注者双方の負担を軽減する。

## 3 事業目的を達成するための取組

### ① 建設業法等に関する業務の適切な運用

- (1) 建設業許可及び経営事項審査に関するデータ管理等の電算処理業務を委託
- (2) 建設工事の請負契約に関する紛争について専門家による迅速かつ簡便な解決を図るため、長野県建設工事紛争審査会を運営

### ② 建設産業の魅力発信と人材確保・育成

【拡】（1）建設産業の魅力発信を推進するため、魅力発信プラットフォームを発足するほか、小中学生や親子を対象とした体験型イベントの開催や建設産業を知るコンテンツを作成

- (2) 建設産業の人材確保・育成を推進するため、建設系学科高校生を対象とした学びのフィールド提供や資格取得支援を実施

【拡】（3）建設企業を対象とした、働き方改革に関するセミナーや研修会を開催

【新】（4）建設業界への人材定着を図るため、建設企業の技術者を対象としたキャリア形成に資する合同研修を開催

### ③ 建設工事の品質確保と業務効率化

- (1) 技術者の意欲を高め、技術力向上を促すため、県の発注した建設工事及び建設工事に係る委託業務において、その成績や取組が特に優れている技術者を表彰
- (2) 建設産業の生産性向上を図るため、中小建設関連企業を対象とするBIM/CIMのハンズオン講習会を開催するとともに、県職員を対象とした3DCADのハンズオン講習会を開催  
また、建設産業の生産性向上を図るため、受注者に遠隔臨場機器を貸与し、その利便性を実感してもらうことで、業者自らの導入を促進
- (3) 受発注者双方の負担軽減のため、建設工事等入札参加資格審査申請を電子化するとともに、県・市町村共同の受付窓口を設置

## 4 成果指標

(推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし －：数値なし)

| No. | 指標名       | 単位 | R5年度 |    | R6年度 |   | R7年度 |    | R8年度目標値 | 達成状況 | 目標値設定理由   |
|-----|-----------|----|------|----|------|---|------|----|---------|------|---|
|     |           |    | 実績   | 実績 | 推移   |   | 見込   | 推移 |         |      |   |
| ①   | 指標なし      |    |      |    |      |   |      |    |         |      |   |
| ②   | イベント等参加者数 | 人  | -    | -  | -    | - | -    | -  | 1,000   | ↗    | R6から徐々に人材確保・育成に係る事業を拡大しており、事業対象者も高校生以外に多数いる状況となった。<br>また、R元から続く建設系学科高校生の建設産業への就職割合の指標も、近年の大学進学率の高まりを背景に、見直しの時期が来ていると考える。<br>建設産業は3K等のイメージが未だに根強いため、イメージ刷新のためにも、より多くの事業対象者が建設産業に触れる機会を提供する必要があることから、イベント等参加者数を成果指標とする。 |
| ③   | 講習会への参加者数 | 人  | -    | -  | -    | - | -    | -  | 200     | ↗    | 多くの受発注者のDX推進に関する技術力を向上させ、早期の生産性向上を達成する必要があるため、講習会への参加者数の累計を成果指標とする。<br>※参加者数は延べ人数とする  |

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

## 6 事業コスト

(単位: 千円、人)

- ・建設産業人材確保・育成事業について、魅力発信プラットフォームの一部業務内容を精査し、事業費を減額
  - ・建設部BPR推進事業は、補助・県単独公共予算で執行することが適切と判断し、新たな予算計上の必要がなくなったため、事業費を減額

|      |          |                   |                         |
|------|----------|-------------------|-------------------------|
| 事業番号 | 11 01 03 | 細事業一覧（令和8年度実施事業分） | □当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検 |
| 事業名  | 建設業振興費   | 部局                | 建設部 課・室 建設政策課・技術管理室     |

| 細事業No. | 細事業名            | R6年度<br>当初予算 | R7年度<br>当初予算   | R8年度<br>当初予算                   |
|--------|-----------------|--------------|--|--------------------------------|
| 1      | 建設業振興費          | 70,433<br>千円 | 85,731<br>千円   | 予算案 90,642<br>要求 176,900<br>千円 |
| No.    | 細事業を構成する主な取組    |              |  |                                |
| 1      | 建設業情報管理電算処理業務   | 委託           | 建設業許可及び経営事項審査に関するデータの管理等の電算処理業務を（一財）建設業情報管理センターに委託し、同センターが運営する「建設業情報管理システム」を利用して、建設業許可及び経営事項審査の審査等を実施<br>想定件数：建設業許可申請数 1,983者 経営実行審査申請数 2,675者   |                                |
| 2      | 建設産業人材確保・育成事業   | 直接<br>委託     | 【拡】・魅力発信プラットフォームの発足、体験型イベントの開催、<br>建設産業を知るコンテンツ作成<br>・建設系学科高校生を対象とした学びのフィールド提供や資格取得支援の<br>実施<br>【拡】・建設企業を対象とした働き方改革に関するセミナー・研修会の開催<br>【新】・建設企業の技術者を対象としたキャリア形成に資する合同研修の開催<br>体験型イベント1回、実践プロジェクト5校、資格取得支援6回、セミナー・研修会<br>1業務、合同研修1業務 |                                |
| 3      | 優良技術者表彰制度       | 直接           | 県の発注した建設工事及び建設工事にかかる委託業務において、その成績や取組<br>が得に優れている技術者を表彰<br>優良技術者表彰 1回   |                                |
| 4      | 建設DX推進事業        | 直接<br>委託     | ・建設企業を対象としたBIM/CIMのハンズオン講習会の開催<br>・職員を対象とした3DCADのハンズオン講習会の開催<br>・受注者への遠隔臨場機器の貸与<br>講習会 2 業務、遠隔臨場機器貸与75件  |                                |
| 5      | 建設工事等入札参加資格審査業務 | 直接<br>委託     | 建設工事等入札参加資格審査申請の電子化及び県・市町村共同の受付窓口の<br>設置<br>共同受付参加市町村数 34団体  |                                |